

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(公下)一般業務			
予算科目	1 款 1 項 3 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	下水道課	電話番号(内線):	576
記入者情報	所属長:	向井 英文	担当責任者:	岡本 千明
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	公共下水道処理区域			
根拠法令等	下水道法、伊予市都市計画下水道事業受益者負担金徴収条例等			
事業の目的	下水道業務(下水道排水設備等)の円滑な事務を行う。			
事業の内容	下水道事業受益者負担金の賦課・徴収、下水道使用料の徴収委託事務。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	使用料の滞納状況を把握し、水道課の給水停止と連携した納付の履行に取組み、経費の管理に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	22,348	27,746	7,489	17,107
	人件費	13,522	13,671	6,836	13,671
	合計	0	41,417	14,325	30,778
人件費 内訳	人工数	1.70	1.70	0.85	1.70
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	13,521	13,671	6,835	13,671
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	35,869	41,417	14,325	30,778
	一般財源	1	0	0	0

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
受益者負担金前納報奨金	千円	1528	800	0	1316
下水道排水設備等の事務費	千円	10924	14562	2323	5453
下水道使用料徴収委託料	千円	9843	12258	5162	10326
水洗便所改造資金利子補給	千円	53	126	4	12

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
		28,231	32,000	32,000	28,000	

成果指標				
成果指標	下水道事業受益者負担金(現年度分)と下水道使用料(現年度分)の徴収率。			
指標設定の考え方	前年度(現年度分)の徴収率と比較し、向上をさせることで事業執行の安定化			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	98.73	98.75	98.7	0
実績	98.92	98.69	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	未接続者への接続促進を計画的に図るとともに、新規接続者等への口座振替の利用促進や水道課の給水停止と連携した納付の履行に取組み、使用料の増収と徴収率の向上に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	接続促進を計画的に行うとともに、水道課と連携して使用料滞納者に対する督促強化を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	使用料について、見直しを検討する。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。